

食育つうしん



がつごう
1月号

がつ か げつ にち きん
1月24日(月)~28日(金)

いばらきしがっこうきゅうしょくしゅうかん
茨木市学校給食週間

1月24日(月)~1月28日(金)は、学校給食週間です。給食について考え、給食にたずさわっている人々や食べ物に感謝の気持ちをあらわす期間です。



学校給食の歴史

ありがとう!



【明治22年(1889年)】



山形県鶴岡市の忠愛小学校でお弁当を持てることができない子どもたちのために、おにぎり、焼き魚、つけものといった簡単なものをお昼ごはんに出したことが学校給食のはじまりだそうです。

【昭和22年(1947年)】



戦争(第二次世界大戦)により、中止していた給食が再び始まりました。脱脂粉乳は、牛乳から乳脂肪分や水分をのぞいて粉にしたものです。お湯で溶かして飲んでいました。

【昭和27年(1952年)】



全国にパン、ミルク、おかずがそろった完全給食が広がっていきました。手に入りやすいくじら肉がよく食べられていました。食器は、アルマイトの食器でした。



【現在】



栄養バランスがよくなり、季節の食材を使用した料理、郷土料理、世界の料理などさまざまな献立が取り入れられています。給食週間には、茨木市の小学生が取り組んだ、『みんなで選ぼう大好きメニュー』が登場します。